



ケアリゾートバリのレストランメニュー、みんな大好き「ミーゴレン」(270円)

お客様をおもてなしする ケアリゾートバリのスタッフ紹介・・・その1

月によってケアリゾートバリでは、お客様が集中していらっしゃる時と、少人数のグループが入れ替わりにいらっしゃる時といくつかのパターンがあります。どのような時でも、お客様をお迎えするにはチームワークが求められます。

仕事を通しお客様と接し、日々勉強させていただいている現地のスタッフの様子をシリーズでお伝えしていきます。

まるでガイドっ
ぽいけど、嬉
しいですよ!!



今年の夏、デンパサール空港でお客様をお見送りする平川とライ。2人とも握手攻め(?)です。

現地の取締役兼総支配人のライ。大学では建築のデザインを専攻。最初は建築を見てもらっていたのですが、現在は総支配人に。文字通り中心として現地を任せています。ご婦人方に人気。愛娘が1人。

スタッフ紹介

レストランで一番頼りになるウェイトレスのイロちゃん。オープン当初からのスタッフ。「仕事が楽しい」と言っていていつも笑顔です。現在は結婚もし、家が近いのでらくらく徒歩通勤。最近は若干貫禄も出てきましたが、安心感のある人です。



ウェイトレスのイロ。隣にあるのは、ブンデスアダ(村の組合長)の奥さんがヤシの藁で作ったお祭りの飾り物。特別にケアリゾートバリのために作ってくれました。

5万ルピアのお札にも登場する有名な「プラタン寺院」

ケアリゾートバリに程近いチャンディクニ公園内のプラタン寺院。インドネシアの5万ルピアの裏に印刷されている湖上に浮かぶ社の景色が有名です。右の写真は、その公園内の一箇所ですが、高地に生えるひよろりとした一本杉が、高冷地では生息しない椰子の木とは違う魅力を放っています。ぶらりと散歩してみたいなる公園です。

チャンディクニ公園
入場毎日、入園料大人1万ルピア(約百円)



ケアリゾートバリから車で10分の「チャンディクニ公園」